

電気通信主任技術者講習テキスト(線路技術) 正誤表

該当箇所		修正前	修正後
第2部 (設備管理一般)	(第2章) 通信品質 92ページ 下から17行目 ⑥接地抵抗値	接地を用いる場合には地抵抗値をできる限り	接地を用いる場合には <u>接地抵抗値</u> をできる限り
第5部 (情報セキュリティ管理及び対策)	(第1章) 165ページ 下から7行目 ⑤スニファリング	代表的なアプリケーションである Sniffer(現在は Wireshark と改名) からつけられた名前である。	<u>英語でにおいなどを嗅ぐ意の sniff に由来し、ネットワークプロトコルアナライザの俗称として Sniffer と呼ぶこともある。Sniffer という名称の製品もあったが、現在は tcpdump や Wireshark などが広く知られている。</u>
	(第2章) 173ページ 12行目	WPA (WiFi Protected Access)	WPA (Wi-Fi Protected Access)
	(第2章) 177ページ 下から1行目	WPA (WiFi Protected Access)	WPA (Wi-Fi Protected Access)
	(第2章) 178ページ 下から13行目	PMF (Protected Mangagement Frames)	PMF (Protected Management Frames)
	(第2章) 180ページ 20行目	事前共有鍵 (Preshared Key:PSK)	事前共有鍵 (Pre-shared Key:PSK)
	(第2章) 180ページ 下から11行目	SAE (Simulatenous Authentication of Equals)	SAE (Simultaneous Authentication of Equals)
	(第5章) 207ページ 下から18行目	(最小特権 (Least Priviledged) の原則)	(最小特権 (Least Priviledged) の原則)

該当箇所		修正前	修正後
電気通信事業法 その他関係法令	(第3章) 法規-16 ページ 22行目	電気通信事業法第41条第3項及び第4項は、	電気通信事業法第41条第 <u>4</u> 項及び第 <u>5</u> 項は、